

ラウンドテーブル 『ナラティブ(語り)研究の社会貢献を考える』

日程：3月9日(木曜日) 12:30 開始

会場：龍谷大学深草キャンパス 和顔館 4階会議室 3

プログラム	
司会進行：村田 和代 (龍谷大学)	
12:30-12:40	開会あいさつ 村田 和代 (龍谷大学)
12:40-13:10	「インタビュー・ナラティブにみる排除・調整・共感の達成：在英日本人移民が語る EU 離脱騒動から「共生」を考える」 秦 かおり (大阪大学)
13:10-13:40	「支援的談話におけるナラティブの変化から考えるナラティブ・アプローチの社会的意義：語られなかった物語が示すもの」 饒平名 尚子 (フェリス女学院大学)
13:40-14:10	「言語人類学におけるナラティブ分析の理論と方法の一例－社会貢献研究の準備作業－」 山口 征孝 (神戸市外国語大学)
14:10-14:40	「5人の医師が語る1つの診療談話に対するナラティブの多様性：発話・沈黙の解釈の相違が示唆すること」 植田 栄子 (青森公立大学)
14:40-15:10	休憩
15:10-15:40	「外国人研修生の職場で語られた問題とその変化を探る：養鶏場における日本人雇用者のインタビュー・ナラティブの分析」 吉田 悦子 (三重大学)・大場 美和子 (昭和女子大学)
15:40-16:10	「『私、通訳やめました』－南米出身のバイリンガルの若者たちのアイデンティティと『通訳』」 吉田 理加 (順天堂大学)
16:10-16:40	「“交流”を主眼とする科学コミュニケーション活動の記録・分析～いわきにおける放射線に関する対話～」 相田 慎 (豊橋技術科学大学)
16:40-17:10	「地域で受け継がれている災害伝承の特性とその意義」 石原 凌河 (龍谷大学)
17:10-17:40	「インタビュー・ナラティブの社会言語学的考察を課題解決につなげる：京都府北部地域をターゲットにして」 村田 和代 (龍谷大学)
全体討議	

※報告タイトルは変更の可能性があります

主催：龍谷大学国際社会文化研究所研究 PJ